

ちょっと覗いてみませんか

防災の実証実験サイト「小林市地域ポータル」

(独)防災科学技術研究所と協力し、防災に関するインターネットサイト「小林市ポータル」を実験的に運用しています。市内の自主防災組織が作成した防災マップなどを閲覧できます。市民協働による防災の取り組みをのぞいてみませんか。(問：小林市市民活動支援センターTel 27-3177)



自殺対策
気軽に精神科に行ける環境を
うつ病医療研修会開催



講演する内村さん。「地域と医者が顔の見える関係を作り上げていくことも必要」と話していました

西 諸医師会主催のうつ病医療研修会が、3月13日、文化会館でありました。医療関係者ら181人が参加し、久留米大学医学部長の内村直尚さんが講師の講演会やパネルディスカッションを実施。内村さんは、かかりつけ医と精神科医の連携の大切さを訴え「気軽に精神科を受診できる環境を作ることが自殺予防につながる」と話していました。



協働のまちづくり
まちづくりに取り組む8団体が、活動状況や課題を報告。
早稲田大の北川教授の講評もあった「協働のまちづくり報告会」

ま ちづくりに取り組む団体などが活動の報告を行う「協働のまちづくり報告会」が3月17日、文化会館で開催されました。市から活動支援補助金の交付を受けた8団体が、活動内容や課題を発表。その後、早稲田大学政治経済学術院北川正恭教授の講評があり、「報告を聞き、協働のまちづくりが進んでいると感じた。ぜひ市民の皆が力を合わせ、次のステップを目指してほしい」と呼びかけました。



(写真左) 講評する北川教授。(右) 8つの団体が活動の成果を発表(写真は、シネマ倶楽部スバル座)



防災
防災の要「市民防災リーダー」
市民62人を新たに認定

地 域防災の要となる人材を育成する「市民防災リーダー養成講習会」が、中央公民館で開催されました。62人が受講し、気象の仕組み、救急救命法やロープワーク実習など、防災の知識と技術を学習。講義と実習を修了した受講者には認定証とバッジが交付されました。現在の防災リーダーは425人。講座は平成27年度も開催しますので、ぜひ受講ください。



県防災士ネットワーク西諸支部の防災士から、三角布を使った応急処置の方法などを学ぶ受講者

協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



認知症
認知症徘徊者を見守る
西小林中で徘徊模擬訓練



徘徊者役に声かけをする同中の生徒。おだやかな口調で名前や住まいなどを質問していました

認 知症で徘徊する人への対応を学ぶ徘徊模擬訓練が、2月27日、西小林中学校でありました。同中学校生徒や地域住民ら106人が参加。関西福祉科学大学准教授都村尚子さんを講師に、認知症患者とのコミュニケーションのとり方の技法「パリエーション」を学んだ後、3コースに分かれ演習を実施。参加者は、徘徊者役を見つけると「どこからきやったと」「少ししゃべりませんか」など優しく語りかけていました。



防災
自主防災組織がマップ作製
コンテスト形式で成果発表

インターネットで地図を閲覧・編集できるシステム「eコミマップ」を防災で活用しようと、市内9つの自主防災組織が、昨年9月から現地調査や協議を重ね、防災マップを作成しました。2月25日、コンテスト形式の発表会が文化会館で開催。発表者は、「マップづくりを通し、地域防災の重要性が認識できた」、「地域のコミュニケーションにつながった」などと発表しました。マップは「小林市地域ポータル」で検索すると閲覧できます。



最優秀賞を受賞した上町中区(金子通孝代表)(写真左)、作製した地図を説明する発表者(右)

登録者数1万人目前! カウントダウン 3月1日現在: 9271人



防災や防犯に役立つ情報届けます。「小林市防災・防犯メール」

災害や身近な防犯情報をお届けします。携帯電話やスマートフォンのカメラ機能で、QRコードを読み取り、本文に「ぼうさい」と入力し、送信すると登録できます。登録完了メールが届かない人は、防災メールなどを受信できない設定になっている場合が考えられます。「city.kobayashi.lg.jp」からのメールを受信できるよう携帯電話から設定するか、最寄りの携帯電話の販売店にて受信設定を行ってください。(問: 危機管理課 Tel 23-1175)



QRコード